

第98回 科学技術部会	資料1-1
平成29年12月9日	

## 平成29年度 厚生労働科学研究費補助金(1次公募)課題一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
政策科学推進研究事業	社会構造の変化を反映し医療・介護分野の施策立案に効果的に活用し得る国際統計分類の開発に関する研究	・医療・介護等の国内専門家の意見を集約し、ICDの改訂・改正、ICFの改正に資する基礎資料を作成すること。これを基に、より適確な分類案を作成提示する。 ・現在WHOにおいて開発が進められているICD-11に関する情報収集を行い、ICD-11の妥当性を評価する。 ・ICD-11の活用方法を開発し、その妥当性を検証する。	15,000	1	3
	高齢期の所得保障における私的年金制度の持続可能性・普及可能性に関する研究	私的年金制度の持続可能性を維持し、更なる普及・拡大を進めるため、公的年金と相まって高齢期の所得保障における私的年金の果たす役割を考慮の上、制度設計を検討する前提として必要なデータ収集や背景等の分析を行う。分析に当たっては、中立的な立場でメリット・デメリット双方のデータを収集するように努める。	3,000	1	3
			18,000	2	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
統計情報総合研究事業	人口動態統計の死亡統計における複合死因分析の方法に関する研究	複合死因分析に関する文献レビューや、諸外国の死亡統計について情報収集、調査、分析を行い、わが国の死亡統計の具体的な方法に関する基礎資料を作成する。	1,000～ 3,000	1	1
	既存の公的統計を利用した国際統計報告の可能性の探索に関する研究	日本から報告されていない国際統計の項目を調査し、把握すること。国際統計の項目の定義を把握し、わが国の既存公的統計項目との定義の違いを把握すること。既存の公的統計項目では対応できないものについて把握する。	1,000～ 3,000	1	2
	患者調査における総患者数推計の妥当性の検証と疾病分類表に関する研究	患者調査の調査票情報から、臨床現場の実績を反映した新規の推計方法を用いて、総患者数の推計を行い、新規の推計方法の妥当性について報告を行うこと。患者調査から推測されるわが国の疾病構造と、社会医療診療行為別統計から得られる受療状況を比較し、疾病分類表による表章方法も含め、わが国の罹病状況をより適切に反映する調査方法の基礎資料を作成する。	2,000～ 4,000	1	2
	ICD-11の伝統医学分類の開発に関する研究	伝統医学分類を用いた疾病統計作成のための基礎資料を作成すること。伝統医学分類の有用性、利用可能性を示す基礎資料を作成する。	1,500～ 3,500	1	1
	国際生活機能分類の統計への活用に関する研究	国際生活機能分類で示されている項目のうち、統計対象として有用なコードを選択するための指針に関する基礎資料を作成する。	1,500～ 3,500	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業	世界保健機関が推進する高齢化対策に資するエビデンスのレビューと発信に関する研究	WHOにおける関連する議論の場に加わり、会合出席やEメール等の手段により、各国政府、大学や研究所等の学術機関、国際機関等の専門家と議論を深めると共に、1. 保健人材養成、2. 統合ケア、3. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ及び保健財政、4. 介護システム、5. 高齢者に優しい環境づくり、6. 施策の経済評価、7. 指標・分析手法等の開発等をテーマとして、高齢化対策に係るエビデンスのレビューと取りまとめを行い、結果を英文としてまとめることで、WHOが報告書を作成する場合は我が国の知見及び経験をインプットすることが求められる。	5,000	1	3
	世界保健総会等における効果的な介入戦略の開発に関する研究	2017年5月の第70回世界保健総会以降、WHOの総会、執行理事会、地域委員会の前にWHO事務局が公開する文書を分析し、過去の討議内容等の詳細な分析を踏まえて、会合における効果的な介入戦略を開発するとともに、政府代表団に同行して技術的支援を行う。また、地球規模保健課題のうち、我が国が蓄積してきた知見及び経験並びに開発した先端的な科学技術がその解決に資すると考えられるものを同定し、当該課題の解決について今後我が国が国際社会でイニシアチブを取る方を提案する。	8,000	1	3
	国際保健政策人材の能力開発に向けた支援・教育ツールの開発に関する研究	国際ポストに必要とされる能力獲得に効果的な支援・教育ツールの開発や大学等が有する既存の教育ツールの改善を行う。評価・改善された支援・教育ツールは、行政と連携して国際ポストに人材を派遣する教育研究機関を中心に活用されることが期待される。	5,000	1	2
	国際保健政策人材増強における根本的課題に関する研究	平成30年度末までに、我が国から国際機関に就職あるいは国内に復職する際の雇用・人事の慣行についてのボトルネックが明らかにされることが求められる。そのボトルネックに対して他国例などを参考に、国外経験を職歴として評価し、さらに業績として認める環境整備を推進する施策や優秀な日本人が国外勤務後に、国内主要ポストに復職可能な人事制度等の具体的な改革案を提案する。またワーキンググループの報告書においても提言されている、リボルビングドア構想といったグローバルヘルス人材循環強化対策の具体的な施策が提案される。本研究を通じ、雇用・人事のグローバルな流動性と国内環流が大幅に増大され、「グローバルヘルス人材戦略センター」の機能と相乗的に国際保健政策人材を増強する。	5,000	1	2
			23,000	4	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
健やか次世代成育総合研究事業	乳幼児突然死症候群(SIDS)を含む睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠中の乳幼児死亡のリスクの検討</li> <li>安全な睡眠環境の在り方の検討</li> <li>睡眠中の乳幼児死亡を予防するための諸外国の取組に関する情報の収集・分析</li> <li>睡眠中の乳幼児死亡を予防するための効果的な施策の提案</li> </ul>	8,000	1	3
	出生前診断実施時の遺伝カウンセリング体制の構築に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>出生前診断の前後において、妊婦に提供すべき情報やその伝え方等に関するマニュアルの作成</li> <li>遺伝カウンセリングに関する知識及び技術向上に関する医療従事者向けの研修プログラムの開発</li> <li>一般の妊婦及びその家族に対する出生前診断に関する適切な普及啓発方法の検討</li> </ul>	8,000	1	3
	幼児期の栄養・食生活支援に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼児期の栄養・食生活に関する課題整理と科学的根拠の収集</li> <li>地域、保育所等における幼児期の栄養・食生活に関する保護者支援の好事例の収集・分析</li> <li>幼児期の栄養・食生活支援ガイド(仮称)案の作成</li> </ul>	10,000	1	3

健やかな親子関係を確立するためのプログラムの開発と有効性の評価に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな親子関係を確立するための科学的知見の収集・整理</li> <li>・地域の資源を活用した親子教室等のプログラムの開発</li> <li>・健やかな親子関係を確立するための教材の開発</li> <li>・親子の行動変容に対する有効性の評価</li> </ul>	8,000	1	3
親子の心の診療を実施するための人材育成方法と診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の心の診療に関する課題整理</li> <li>・親子の心の診療に関する様々な専門家による連携体制の構築</li> <li>・親子の心の診療を実施するための研修プログラムの開発</li> <li>・親子の心の診療ガイドライン・保健指導プログラムの作成</li> </ul>	11,000	1	3
		45,000	5	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
がん政策研究事業	より適切ながん検診の提供に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん種別、年代別検診推奨グレードの作成</li> <li>・検診事業評価の見直し等を通じた、がん検診の適切な精度管理方法の開発</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	がんゲノム医療提供体制の整備に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝性腫瘍の診療・支援における国内のガイドライン開発</li> <li>・遺伝性腫瘍の原因遺伝子保因者に対する医療介入の医療経済学的提言</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	がんに関する情報提供と相談支援に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在提供されている情報内容を踏まえ、がん患者が求める情報を整理し、実際に提供を行う方策に関する政策提言、または実行</li> <li>・患者と患者家族の支援ニーズの抽出やがん診断早期から相談支援に携わる者が介入することの有効性に関するエビデンスの構築</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	小児・AYA世代のがんの医療提供体制の質向上に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児・AYA世代がん患者の妊孕性、生殖機能温存などサバイバーシップ向上に資するエビデンス構築</li> <li>・小児がん医療の実態評価を踏まえた小児がん拠点病院と小児がん診療病院の適切なネットワークモデルの構築</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	高齢者のがんの医療提供体制の質向上に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者のがん治療における意思決定支援プログラム開発と標準化</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	がん患者の就労継続及び職場復帰に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者の離職予防や就労継続、再就職を妨げる要因と必要とする支援の解明</li> <li>・臨床現場において医療従事者が適切に介入するための就労支援方法の策定</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	希少がんの医療提供体制の質向上に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希少がん領域における診療、病理診断等のネットワーク構築と効果検証</li> <li>・希少がんの必要な集約化に向けたデータの情報公開</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	がん登録を基盤とした診療情報集積とデータ解析推進のための研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国がん登録のデータの活用方法や、院内がん登録、臓器がん登録、これまでの地域がん登録を利用した全国のがん動向把握</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	がんに関わる医療従事者のスキルアップを目指した研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より効率的かつ学習効果の高い教材や教育方法の開発</li> <li>・希少がん、小児・AYA世代のがん等に携わる者の育成</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
	がん患者やその家族の抱える社会的問題の抽出と解決に資する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん患者やその家族の抱える社会的問題の抽出と解決法の政策的提言</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3
がん対策全体のPDCAサイクルを確保し、継続的に評価改善を行う指標を策定するための研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん対策推進基本計画のPDCAサイクル確保を支えるための評価方法</li> <li>・がん診療連携拠点病院等に関する医療提供の実態を踏まえた継続的な質の評価方法策定</li> </ul>	5,000～ 20,000	1～3	1～3	

がん緩和ケアの推進に関する研究	・がんの緩和ケアの質を客観的、かつ定量的に評価するための指標の策定 ・がん診療連携拠点病院以外の医療機関における緩和ケアの実態調査と介入方法の開発	5,000～ 20,000	1～3	1～3
地域包括ケアにおけるがん診療提供体制の構築に関する研究	・がん診療連携拠点病院等とそれ以外の医療機関、在宅におけるがん診療支援モデルの開発	5,000～ 20,000	1～3	1～3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	生活習慣病予防の労働生産性への影響を含めた経済影響分析に関する研究	・生活習慣病などの予防施策の経済影響分析の国際比較 ・日本の生活習慣病などの予防施策の経済影響分析	3,000～ 10,000	1～2	2
	循環器疾患に関する個人及び集団のリスク評価ツールの開発のための研究	・個人の循環器疾患発症危険度を予測するリスク評価ツールの開発 ・個人の循環器疾患の生涯リスクに関するリスクエンジンの開発 ・集団の循環器疾患発症危険度を予測するリスク評価ツールの開発	10,000～ 30,000	1～2	3
	今後の糖尿病対策と医療提供体制の整備のための研究	・平成28年度までに行われた厚生労働省・AMEDの研究、厚生労働省の糖尿病対策事業、あるいは学会事業としての糖尿病対策について、とりまとめを行い、課題を抽出。 ・NDB/DPCデータベースを用いて、日本全体における糖尿病および糖尿病合併症の実態把握と、糖尿病性腎症等の重症化予防における課題を抽出。 ・上記2点から抽出された課題に対する解決策の提示。 ・各学会で作成されたガイドラインの比較を行い、診療の質の評価を可能とする、学会横断的なガイドラインの作成。 ・各種調査から新たに提起される問題に対する分析、解決策の提示。 ・地域における糖尿病診療の現状把握及び指標の抽出を行う ・糖尿病に対する適切な医療体制構築に資する成果。 ・各種団体が制定している療養士制度の差異を把握し、その効果的な活用のための体制構築への提言を行う。	5,000～ 10,000	1	3
	慢性期における脳卒中を含む循環器病診療の質の評価に関する研究	・慢性期における脳卒中を含む循環器病診療の現状把握と診療の質評価指標の策定 ・脳卒中を含む循環器病の診療連携体制の現状把握と質評価指標の策定	5,000～ 10,000	1	3
	国民健康・栄養調査結果を用いた栄養素及び食品の摂取状況の適切性の評価に関する研究	・食事摂取基準との比較による栄養素摂取量の適切性の評価方法の開発 ・一日に必要な栄養素等の摂取を可能とする食品の組合せと食費の検証 ・生活習慣病の予防を目的とした食事の構成要素(食品の栄養素密度と特定の食品の寄与度等)の基礎的検証	10,000～ 15,000	1	3
	地域・職域連携の推進による生活習慣病予防等に関する研究	・地域・職域連携の推進と生活習慣病予防対策等に資する科学的根拠に基づいた地域・職域連携推進プログラム等を作成し、成果を健康増進法に基づく健康診査の実施等に関する指針に反映する。	8,000～ 10,000	1～2	3
	口腔衛生習慣及び歯科保健サービスが歯の健康づくりに与える影響等に関する研究	・歯科保健医療サービスの経験、口腔にかかるリテラシー、提供体制等が口腔の疾病イベントや口腔の状態に与える影響についてエビデンスの整理 ・「歯の健康」と「全身の健康」に関するエビデンスの整理 ・安価で簡便な新たなスクリーニング手法を開発・展開 ・歯科検診等の提供体制(場所、時間、内容、情報発信、指導、治療)等が検診受診率及び精密検査受診率等に与える影響について国内外の状況を調査・分析	7,000	1	2

飲酒や喫煙等の実態調査と生活習慣病予防のための減酒の効果的な介入法の開発に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年における成人の飲酒実態調査の実施、結果の集計及び解析。</li> <li>現在までに得られている飲酒による疾病リスクのレビューを行う。</li> <li>アルコールに関連する生活習慣病のモニタリング調査の実施、結果の集計及び解析。</li> <li>BIについて国内外の文献レビューによるエビデンスの構築。</li> <li>我が国におけるBIの実態把握とその効果評価の実施、結果の集計及び解析。</li> <li>未成年者の飲酒率と喫煙率の集計と解析</li> </ul>	15,000～20,000	1～2	3
市民によるAEDのさらなる使用促進とAED関連情報の取扱いについての研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>AEDの設置台数やその位置情報に関わる現状を把握するとともに、AED使用に至らない理由の調査結果から、その解決に向けた介入についての検討結果を得る。</li> <li>AEDの解析波形等内部情報の抽出に関わる問題点を明らかにするとともに、市民によるAED使用の事後検証の有効性についての評価結果を得る。</li> </ul>	3,000～5,000	1	3
健康に与えるロコモティブシンドロームの影響に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロコモティブシンドローム(運動器症候群、以下「ロコモ」という。)は介護リスクの高い状態である。</li> <li>運動機能低下の程度と介護リスクとの関係の検証にふまえた、ロコモの客観的な評価方法の開発を行う。検証結果をもとに、ロコモ該当者の早期発見のための指標や検診を念頭においた検査法の検討を行う。</li> <li>開発したロコモの客観的な評価方法を踏まえ、ロコモの定義を整理し、ロコモの予防並びにロコモからの改善方法の開発を行う。運動機能の維持向上につながる効果的なリハビリテーション等の具体的な方法と、効果的な栄養介入方法に関する検討を行い、基本的なプログラムを作成する。</li> <li>プログラムの全国展開を見据えた、ロコモ該当者の全国推計および対策を行う体制に関しての検討を行う。</li> <li>上記により得られたロコモの客観的な評価に基づき、効果的な予防方法に関する提言をとりまとめる。</li> </ul>	5,000～7,000	1	2
重点的在宅栄養ケアに関する効果的な介入方法の検証に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅療養者であって、摂食嚥下機能の低下を伴う脳卒中患者など、管理栄養士による重点的栄養介入が必要な在宅療養者に対しての効果的な栄養介入方法について検証する。</li> <li>栄養介入方法の決定においては、先行研究のレビュー(栄養ケアの必要度に関する評価方法を含む)を行い、対象者の状態像の類型毎の介入方法とし、その資料もとりまとめる。</li> </ul>	3,000～5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
女性の健康の包括的支援政策研究事業	女性の健康の社会経済学的影響に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>月経困難症や骨粗鬆症など女性特有の疾患や、女性の生活習慣病が、女性の各ライフステージにおいてどの程度社会的損失を生み出しているかについて、労働力の観点、医療費の観点、介護費の観点などから検討し、女性の健康の社会経済学的影響について明らかにする</li> <li>職場や地域における女性の健康増進に係る取組の好事例の収集</li> <li>上記の取組による健康増進の社会経済学的インパクトの評価</li> </ul>	10,000	1	2

10,000 1

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
難治性疾患政策研究事業	疾患別基盤研究分野(32課題進行中、29年度は20課題程度新規採択予定)	関係学会から承認された客観的な指標に基づく診断基準・重症度分類(および診療ガイドライン)。またそれらのエビデンス(評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)。また、診断基準を満たす患者の推計及びその根拠。	1,000～ 1,700	20	1～2
	領域別基盤研究分野(67課題進行中、29年度は35課題程度新規採択予定)	・関係学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成または改定。 ・関連学会、非専門医、患者及び国民への普及・啓発。 ・患者の療養生活環境整備やQOL向上に資する成果。 ・早期診断や適切な施設での診療等を目指した、診療提供体制の構築。 ・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。 ・指定難病データベース(平成29年度中に稼働開始予定)等の各種データベースへの協力。 ・国際展開も視野に入れた研究開発体制の推進。 ・主要学会を含めた関連学会との連携体制の構築。 ・難治性疾患実用化研究事業等、当該疾病関連研究との連携・とりまとめ。	5,000～ 25,000	35	2～3
	横断的政策研究分野(10課題進行中、29年度10課題程度新規採択予定)	・難病等の医療水準向上に資する成果 ・関連学会、非専門医、患者及び国民への普及・啓発活動。 ・患者の療養生活環境整備やQOL向上に資する成果。 ・早期診断や適切な施設での診療等を目指した、診療提供体制の構築。 ・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築。 ・指定難病データベース(平成29年度中に稼働開始予定)等の各種データベースへの協力。 ・国際展開も視野に入れた研究開発体制の推進。 ・主要学会を含めた関連学会との連携体制の構築。 ・論文、学会発表等。	1,500～ 7,000	10	2～3

- 65

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
免疫アレルギー疾患政策 研究分野	アレルギー疾患における標準治療の普及・均てん化に係る研究	アレルギー疾患の標準治療を確立させ、それを普及させる仕組みを構築する。 ・既存ガイドラインのMinds準拠へ向けた改訂に資するエビデンスの収集 ・標準治療に関する医師向け研修プログラムの実施及び評価 ・標準治療を普及させるための方法とその普及状況の評価法の開発等	7,000～ 8,000	1	3
	リウマチ疾患における小児期と成人期の異同性を踏まえた標準治療の均てん化に関する研究	リウマチ性疾患の標準治療に関して、これまでの成果を更に充実、普及させる。 ・小児期と成人期の異同の調査等に必要十分なデータの収集、解析 ・疫学及び病因探索から、病態に合わせた診断・治療法を確立し、ガイドラインへの反映	7,000～ 8,000	1	3

- -

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
移植医療基盤整備研究分野	非血縁者間末梢血幹細胞移植におけるドナーの安全性確保と効率的な提供体制構築及び移植成績向上に資する研究	非血縁者間末梢血幹細胞移植数の増加、推進を目的とした、非血縁者間末梢血幹細胞移植に関するデータの収集と課題の抽出、およびその課題への対策を行うための政策(例えば、コーディネートの効率化の改善方法、ドナー・患者の満足度向上のための検討、ドナーの安全性向上の政策など)の提言を行うことが求められる。	6,000～ 10,000	1～2	3
	脳死下・心停止下における臓器・組織提供ドナー家族における満足度の向上及び効率的な提供体制構築に資する研究	臓器・組織提供数の増加、推進を目的とした、脳死下・心停止下における臓器・組織提供時におけるコーディネートの一元化の方法や提言、ならびに臓器・組織提供施設の負担の課題抽出と軽減策の政策、小児からの臓器提供も含めた脳死・心停止家族への適切な選択肢提示方法の開発ができることが求められる。	6,000～ 10,000	1～2	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
長寿科学政策研究事業	ICTを活用した介護保険施設等の情報把握を行うための安価なソフトウェア等の開発に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の要件を満たすソフトウェア等の作成 <ul style="list-style-type: none"> <li>一 介護施設から稼働状況等を容易に更新可能</li> <li>一 平時に全国の介護施設の稼働状況等の簡易なデータを、プラットフォームを問わず地理情報システム等を用いて視覚的に閲覧可能</li> <li>一 継続的な維持管理が安価で可能</li> </ul> </li> <li>・ 平時利用はデバイス・デバインドを考慮し、誰でも利用可能なユーザーインターフェイス及びユーザーエクスペリエンスの提案</li> <li>・ 有事に被災現場等からデバイスを問わずに被災状況等を更新でき、広域な災害でも対応可能なモデルの構築</li> </ul>	5,000～ 10,000	1～2	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
	障害者が利用する生活支援機器の効果的活用や支援手法等に関する情報基盤整備に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者の支援機器等について、障害者のみならず、その支援者にとって利便性の高いデータベースの開発と公開</li> <li>・ 生活における支援機器の使用実態とその利用効果の測定並びに機器選定に係る情報等にかかる調査研究や、ICTを活用した意思疎通支援手法に係る情報の整理及びそれを用いた支援手法等の研究の結果をまとめた報告書</li> </ul>	15,000	1	3
	障害児支援のサービスの質を向上させるための第三者評価方法の開発に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児支援のサービスの質に関する第三者評価方法の提示</li> <li>・ 第三者評価普及方法の提示</li> </ul>	15,000	1	2
	難病のある人に対する就労支援における合理的配慮を推進するための研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 難病のある人への合理的配慮が求められる訓練・就業場面の把握、整理</li> <li>・ 疾病毎の訓練・就業場面別の合理的配慮の内容を取りまとめ</li> </ul>	5,000	1	2

障害者政策総合研究事業	障害者の意思決定支援の効果に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>意思決定支援研修の実施状況及び個別支援会議における意思決定支援の実施状況把握。</li> <li>相談支援専門員及びサービス管理責任者研修における意思決定支援の理解度の把握。</li> <li>サービス担当者会議、個別支援会議等における意思決定支援の実施状況及び内容把握。</li> <li>意思決定支援の好事例集の作成。</li> <li>サービス等利用計画及び個別支援計画における意思決定支援の効果検証。</li> <li>上記調査に基づく意思決定支援ガイドラインの改訂、研修の改善に関する提言。</li> </ul>	5,000	1	2
	向精神薬の適正処方に関する政策研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>ベンゾジアゼピン系薬剤を含む向精神薬の処方実態把握の結果</li> <li>向精神薬に依存している患者の実態把握の結果</li> <li>向精神薬を処方する医師の意識調査の結果</li> <li>適正な向精神薬の処方を目的としたガイドライン</li> </ul>	10,000	1	2
	国際化に対応できる精神科医療提供体制に関する政策研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科医療の国際化に関する課題の整理</li> <li>精神科医療の国際化に取り組んでいる自治体や医療機関の好事例</li> <li>精神科医療機関の国際化を推進するための手引き</li> <li>入院に必要な書類の多言語化</li> </ul>	5,000	1	2
	精神科救急及び急性期医療の質向上に関する政策研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科救急及び急性期医療全般に関する調査結果</li> <li>措置入院に係るガイドライン</li> <li>精神科救急における薬物乱用関連問題に関する診療ガイドライン</li> <li>精神科救急及び急性期医療に関する包括的ガイドライン</li> <li>精神科救急・急性期病棟の運用に資する臨床指標、ツールの開発</li> <li>措置入院における退院後のケアニーズアセスメントの開発</li> <li>精神科救急及び急性期医療に関する自治体・医療機関の取組の好事例集</li> </ul>	20,000	1	2
	重度かつ慢性の精神障害者に対する包括的支援に関する政策研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>重度かつ慢性に対する良質な入院医療及び地域医療に関する好事例の収集、実態把握、包括的支援ガイドラインの開発</li> <li>効果測定の結果</li> </ul>	10,000	5	2
	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムのモニタリングに関する政策研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科医療提供体制及び地域資源に関する実態を迅速に把握できる調査手法の確立</li> <li>精神科医療提供体制及び地域資源に関する調査結果(平成29年実施分、平成30年実施分)</li> <li>利用者の視点に立つて分析できる情報システム(プロトタイプ)の開発</li> </ul>	30,000	1	2
			155,000	13	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	地域における感染症対策に係るネットワークの標準モデルを検証・推進するための研究	AMR対策に資する効果的な『地域感染症対策ネットワーク(仮称)』を構築するための標準モデルを確立する。	5,000～10,000	1～2	3
	ワクチンの費用対効果等についての社会の立場からの評価研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>EQ-5D等のQOL指標を用いた、高齢者の肺炎等のワクチン予防可能疾患におけるQOL評価</li> <li>生産性損失などを考慮した社会の立場からの個別のワクチンの費用対効果の算出</li> </ul>	5,000	1	3
	新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネジメントに資する感染症のリスク評価及び公衆衛生的対策の強化に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型インフルエンザ発生時における迅速な疾病負担(医療需要等)の把握手法の開発</li> <li>新型インフルエンザ発生時における初期の症例数の把握手法の開発</li> <li>新型インフルエンザ対策として備蓄されている抗インフルエンザ薬及びワクチンのリスクアセスメントに応じた運用方法に関する調査結果</li> </ul>	8,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
地域医療基盤開発推進研究事業	「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」における口腔機能に着目した評価及び歯科保健指導等に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科疾患実態調査の必要客体数、回収率向上方策、統計学的に必要な調査項目等の提示。</li> <li>・歯科疾患に影響を与える行動等について文献調査を踏まえた検証。</li> <li>・口腔機能に着目した評価及び歯科保健指導の手法(歯科保健指導の効率的な提供に資する資源等についての調査及び文献の検証を含む。)の提示。</li> <li>・口腔機能に着目した評価及び歯科保健指導の手法のエビデンスレベル(信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等)の提示。</li> </ul>	2,000	1	2
	歯科技工業の多様な業務モデルに関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科技工業の多様な業務モデルについて勤務環境(労働時間、収益等)にかかる要素ごとに利点・欠点を整理するとともに、当該業務モデルの効果的運用方法について提案し、当該業務モデルの導入に資するマニュアル等を作成する。</li> <li>・歯科技工所と歯科診療所等の間の委託契約の方法及び内容や、歯科技工所内の雇用契約の内容の検証。</li> </ul>	1,500	1	2
	歯科衛生士及び歯科技工士の免許取得者の就業状況等に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数の歯科衛生士及び歯科技工士養成施設の卒業生(卒後3年以上、過去約10年)を対象に、養成施設に入学した理由や、卒後の就業状況、またその選択の理由、職歴等について実態調査を行うことにより、近年の就業動向等を検証する。</li> <li>・実態調査の結果に基づき、歯科衛生士と歯科技工士のキャリアパスや働き方について検討を行い、就職率の向上及び離職率の低下のための具体的な方策を提示する。</li> </ul>	1,200	1	2
	医療安全対策の最新のエビデンスに関する研究	平成17年には「今後の医療安全対策について」の報告書が提出され、報告書の内容等を重点項目として施策を充実させてきたが、医療安全に関する知見は、日々進展している。医療安全に関する国内外のエビデンスについて網羅的に収集し、我が国における理論的にも、ICTを含めた技術的にも医療安全対策の評価、及び今後の課題についての整理を行う。	6,000	1	2
	医療安全に資するe-learningを活用した教育方法に関する研究	医療安全の向上のためには、医療従事者の資質の向上が不可欠であり、そのためには日々進歩する医療技術や安全対策を中心とした教育を継続的に行う必要がある。しかし、研修を受講するための時間の確保が困難であったり、各医療機関や職能団体によって教育方法や教育内容、学習効果の測定方法は様々であるため、e-learningを用いた研修への期待が高まっている。全国のe-learningの課題を調査するとともに、より効果的な研修方法、内容及びその学習効果測定方法について明らかにする。	4,000	1	2
	看護実践能力の向上に寄与する看護教員・実習指導者の養成と継続教育に関する研究	医療提供体制の変化に伴い、地域包括ケアの推進に貢献できる、より自律して判断し実践できる包括的な看護実践能力を担保する看護師の養成が必要とされている。本研究では、養成課程における学生の看護実践能力向上に効果的な教育を行うための、看護教員や臨床実習指導者の教育能力や評価能力及び養成講習会や継続教育について、効果的な施策を検討する際の基礎資料を作成することを目的とする。	4,000	1	2
	夜間・休日を含む小児救急医療体制の最適化及び情報発信方法に関する研究	近年の小児救急において、新興・再興感染症等による危険性が高まっており、急性期小児呼吸器疾患等の重篤症例は一定数存在すること、また、頭部外傷・耳鼻科・眼科など専門性の高い診療科の夜間休日の診療可能な医療機関が少ない地域は多く、時に緊急度の高い事例でも適切な受診に苦慮することがあることなどから、小児救急の予後改善と地域での子育て環境の改善を目的として、以下の検討を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小児救急医療体制の最適な整備の在り方</li> <li>・夜間休日受診する際の地域住民に対する小児救急医療機関情報の効果的な発信の在り方</li> </ul>	3,000	1	3
	地域の医療従事者確保対策に関する研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療計画における医療従事者確保の基礎となるデータの提供</li> <li>・既存の医療従事者確保策の成果や、特に有効だった事例の収集及び分析</li> <li>・今後の医療従事者確保策においてPDCAサイクルを推進するための指標作成</li> <li>・専門医プログラム等のキャリア支援、育児等を含む就業支援等の検証</li> <li>・地域医療構想等を勘案した新たな医師確保策・医師配置策の検討</li> </ul>	5,000	1	3

災害時小児・周産期医療体制の構築と認知向上についての研究	災害医療情報システムEMISがDMAT本部や災害医療コーディネーターに有効に活用されていることを受け、災害時小児周産期リエゾンにおいても、以下を実施する。 ・独自に発展した小児や周産期医療のネットワークを有効に活用して患者や医療者の采配が出来るような情報システム基盤の作成 ・平成28年度の研修事業の実施を踏まえた内容の改定等、今後の研修への提案	3,000	1	3
既存データ等を活用した医療ICT化の効果検証に関する研究	既存データ等を用いて医療情報連携ネットワークや電子クリニカルパス等の医療等分野のICT化による効果(平均在院日数や紹介率・逆紹介率等)の検証・分析を行う。その成果を受け、医療ICT化の普及に繋がる指標等を取りまとめ、今後の進め方を提言する。 また、医療機関等が医療等分野のICT化の効果を評価することのできる効果指標を策定し、自らICT化の効果を正確に分析することにより、ICT化の改善・更なる普及を推進する。	7,000	1	2

36,700 10

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
労働安全衛生総合研究事業	施設の経年劣化の進展の予測方法に関する研究	・鉄鋼、石油精製、石油化学、セメント工業等の装置産業における屋外設備、その付帯設備(通路、運転室等)等の労働者が立ち入る可能性のある箇所の構造部材について、点検手法、点検頻度、更新基準等を定めるため、材料(耐腐食塗装等を含む)、構造、周囲の環境等に応じて、腐食による減肉、クリーブ損傷、亀裂欠陥等がどのように進展するかの実態把握 ・上記の実態把握を踏まえたモデル等により解析する手法の開発、及び設備の余寿命の予測手法の開発に関する資料	10,000	1	3
	オルトトルイジン等芳香族アミン類による膀胱がん事案の実態解明等に関する研究	・経皮ばく露による健康障害のリスク評価手法を開発する。 ・発症者の病理組織に関する特異性等について、調査を行い実態を把握する。 ・効果的な経皮ばく露による健康障害リスクの評価手法及びばく露防止措置の検討を進め、事業場における適切なばく露防止対策に活用できるツールを開発する。	15,000	1	3
	IT技術を活用した化学物質の危険有害情報の活用に関する研究	・化学物質の容器に情報のありかを示す目印等を表示し、当該目印等からIT技術を活用して有害性情報を取得するための仕組みを構築する。 ・IT技術を活用して化学物質の有害性情報を取扱者に分かりやすく伝達するための方法のモデルを開発する。	5,000	1	3
	じん肺エックス線写真による診断精度向上に関する研究	・デジタル画像におけるじん肺診断の精度向上のための読影技術を示す。 ・コンピューターなどを活用したじん肺にとどまらない呼吸器疾患の画像診断技術の実用化を目指した研究結果を示す。	10,000	1	3
	繊維状粒子自動測定装置を用いた作業環境測定の精度の検証及び測定手法等の確立	・繊維状粒子の空気中濃度を測定する際の数値のバラツキの原因に関する実態を把握する。 ・測定の精度を高めるための手法及びバラツキを補正するための手法を提案する。 ・繊維状粒子自動測定装置を用いた作業環境測定的手法を確立する。 ・繊維状粒子自動測定装置に求められる要求精度を明らかにする。	5,000	1	3

45,000 5

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
食品の安全確保推進研究 事業	食品を介する家畜・家禽疾病のリスク管理に関する研究	・BSE等食品を介したプリオン病のヒトへの病原性に関する知見の収集 ・と畜検査及び食鳥検査の検査対象疾病のヒトへの病原性及びその検知手法に関する知見の収集 ・と畜場・食鳥処理場の衛生管理をシステム検証するための評価手法の開発	35,000～ 50,000	1	3
	食品衛生検査施設等におけるマネジメントシステムに関する研究	・GLPの改正案並びに改正GLPの国内導入に伴う課題及び解決策の提案 ・既存の外部精度管理調査試料の改善法の検討・導入検証及び新規試料の開発・導入検証	28,000～ 58,000	1	3
	食品由来が疑われる有症事案に係る調査(食中毒調査)の迅速化・高度化に関する研究	・腸管出血性大腸菌による食中毒調査の迅速な対応を可能とする、菌株の同一性をスクリーニングするための検査法の確立 ・広域・大規模の食中毒調査の実際における疫学的手法等の課題・改善策	15,000～ 20,000	1	3
	フグ処理者の認定手法の標準化に関する研究	・フグの処理について現在の処理技術等の情報を収集し、安全なフグ処理手順の検討を行う。	3,000～ 5,000	1	1
	ナノマテリアルの経口曝露による毒性評価手法に関する研究	・ナノマテリアルのアジュバント作用、経皮及び経口曝露時の毒性評価手法の検討 ・ナノマテリアルの免疫毒性評価法の検討 ・ナノマテリアルの食品関連分野を中心とした曝露状況に関する国際動向の調査	10,000～ 25,000	1	3
	既存添加物の品質確保のための評価手法に関する研究	・成分規格未設定の既存添加物の整理 ・既存添加物の含有成分の解析の検討 ・香辛料抽出物の基原、成分組成に関する基礎情報の収集 ・含量規格設定が困難な品目に対する定量法の開発 ・酵素等の基原種の同定法の開発	10,000～ 15,000	1	3
	食品中の微生物試験法の国際整合性に関する研究	・諸外国における食品中の微生物試験法の調査 ・現在、採用されている微生物試験法の国際整合の確認 ・我が国に流通する多様な形態の食品にも適応可能な微生物試験法の検討	10,000～ 40,000	1	3
食品安全行政の推進に資する研究分野における若手育成のための研究	・食品安全行政の推進に資する研究分野における若手研究者の育成 ・厚生労働省が行う食品安全行政の推進に資する研究成果	2,000～ 3,000	3	3	

- 10

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
医薬品・医療機器等レギュ ラトリーサイエンス政策研 究事業	薬物乱用・依存状況の実態把握と薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究	・過去に実施された厚生労働科学研究の乱用実態の把握結果を踏まえ、麻薬、覚せい剤、大麻、危険ドラッグ等の乱用状況に関する調査を行い、我が国における薬物乱用実態等の把握する。また、再乱用防止の観点から、薬物依存症者の社会復帰に向けた支援策の評価・開発等を行う。	14,000	1	2
	新興・再興感染症に対する血液製剤の安全性及び安定的確保に関する研究	・新興・再興感染症の病原体、特に蚊媒介性ウイルス(ジカウイルス、デングウイルス等)の国際的な感染拡大が懸念されるなか、 ・各病原体が血液製剤の安全性及び安定供給に及ぼす影響とその対策についての科学的根拠に基づいたアセスメントを提示すること。 ・輸血用血液製剤及び血漿分画製剤の病原体不活化・低減化技術に関して、科学的評価および開発された技術を提示すること。	8,500	1	3

22,500 2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
化学物質リスク研究事業	化学物質の有害性評価の迅速化・高度化・標準化に関する研究	・QSARやカテゴリーアプローチ等の予測的な評価方法の開発など、化学物質の効率的で精度の高い評価手法の案 ・動物実験に関する3Rに資する評価手法の案	15,000	1	3
	化学物質の子どもへの影響評価に関する研究	・化学物質の子どもへの健康影響を評価するための試験法の案	15,000	1	3
	ナノマテリアルのヒト健康影響の評価手法に関する研究	・ナノマテリアルに係る高速で高効率な有害性評価手法及びリスク評価手法の案	15,000	1	3
	シックハウス(室内空気汚染)対策に関する研究	・揮発性化学物質等のリスク評価等に関すること	15,000	1	3
			60,000	4	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの 予算額 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
健康安全・危機管理対策 総合研究事業	管理的立場にある市町村の保健師の人材育成に関する研究	都道府県が実施する管理的立場にある市町村の保健師を育成するための研修プログラムと人材育成ガイドラインを作成する。	7,000	1	2
	公衆衛生医師の確保・育成に関する研究	・公衆衛生医師の確保に向けた保健所、大学、地方自治体等の機関の連携モデルの全国展開に当たっての課題整理 ・女性医師の公衆衛生医師としての活用モデルの構築	3,000	1	1
	広域大規模災害時の公衆衛生行政における支援・受援の体制構築に関する研究	・大規模自然災害時のDHEATの派遣にあたっての課題整理と、派遣システムのモデル提示 ・熊本地震や鳥取地震等、直近の災害における対応検証も踏まえた発災後のタイミング毎に必要な支援・受援体制等の課題整理と対応ガイドラインの提示	9,000	1	2
	人口減少社会における情報技術を活用した水質確保を含む管路網管理向上策に関する研究	・人口減少に伴う水需要減少下での配水管網における適切な水質、水量及び水圧管理に向けたスマートセンサー及びスマートメーター等の情報技術の活用及び遠隔監視制御手法の開発。 ・簡易水道等においても導入可能な安価な水質計を用いた自動測定システムの開発。	7,000～ 8,000	1	3
	水供給維持困難地域等における水供給の安定性及び安全性確保に関する統合的研究	・簡易送水システムや運搬給水における安全性・安定性確保方策 ・小規模水道でも維持管理が容易な水処理方法における安全性確保方策 ・小規模水道に適した水安全計画の策定に資する検討	8,000～ 9,000	1	3
	民泊サービスにおける衛生管理等に関する研究	・民泊サービスを提供する施設における衛生管理等の状況(現行の旅館業における衛生管理等要領の取組状況及びこれによらない独自の取組)について示すとともに、営業者による衛生管理等の実施に係る課題について明らかにする。 ・上記及び宿泊者の健康確保の観点を踏まえ、民泊サービスを提供する営業者に求めるべき衛生管理項目について提案する。	8,000	1	2
	建築物環境衛生管理基準の検証に関する研究	新たな基準(基準値の見直し、項目の追加・組替え)を提案し、これに関する特定建築物における実態と導入に当たっての課題について明らかにする。	8,000	1	3
	中規模建築物における衛生管理の実態と特定建築物の適用に関する研究	2000㎡～3000㎡の建築物における衛生管理状況(基準の適・不適の状況)、利用者の健康状況について示すとともに、衛生管理状況に問題のある建築物においては何が原因となっているのか、法令で規定することによる問題点(設備的、人的な対応の観点等から)について明らかにする。	8,000	1	3